

2001年NPO法人メダカのがっこうを始めて10年過ぎました。おかげさまで仲間が増え、700名近い会員、90名を超える援農ボランティア隊、毎回パンク状態の野草料理教室や、人気の「自給自足くらぶセミナー」とワクワクです。もう一方、ここ数年、田んぼ体験参加者が急増し昨年は5月から9月までの参加者が延2000人を超え、忙殺状態です。

ところが、メダカのがっこうの最重要テーマ「生きものいっぱいの田んぼの支援事業」である田んぼ組やグリーンオーナーに関しては、横ばいか、微減の状態です。特に経済状況が厳しい昨年は特に止める方が多く、新たに始めてくださる方を上回っていました。どうも私たちの動きが、田んぼ支援につながっていないようなのです。そこで、今年からもう一度本来の目的を追求させていただきたいのです。

田んぼ体験、自給自足くらぶ、野草料理教室参加者の皆さんにお願い

特に田んぼ体験をしたい方にお願いです。体験する田んぼ8分の1反を契約してからその田んぼで稲作りをしてくれませんか。約60kg(1俵)の農薬・化学肥料を使わない最高に美味しいお米が収穫できます。自分がオーナーになり生産に関わった田んぼのお米を食べるのは最高です。お宅の米の自給率も上がります。どれくらいの費用でできるかという、1月3500円(送料別)+参加費の負担になります。

自給自足くらぶで醤油造り、味噌造り、梅干作り、たくあん作りなどを行っている方にも提案です。自給自足は、お米が基本です。まだの方、田んぼのオーナーになってくれませんか。

野草料理教室の参加者の方にも同じ提案をします。野草こそ農薬・化学肥料を使わない田畑でないと食べられるいい草が生えません。除草剤を使うとイネ科の雑草ばかりになってしまうのです。この田んぼを応援する意味が最もわかっていただけの方たちだと思います。

私からの「ありがとう通信」をお約束します。

メダカのがっこうは、この10年田んぼの生きもの調査をしてきました。そして分かったことは、田んぼ環境の最も信用できる指標は、希少な生きものや特殊な生きもの数ではなく、生物多様性、多くの種類の生きものや草たちが生きているかどうかということです。田んぼの生きもの多様性は、春夏秋冬の年4回調査しなければ、わかりません。メダカのがっこうは、農場ごとの「生きもの図鑑&リスト」を作っています。

田んぼのオーナーになってくださる方には、その農場の「生きもの図鑑&リスト」と毎回の「調査レポート」をお送りします。そしてその意味と感謝を伝える私からのお手紙「ありがとう通信」を調査の度に、お米と一緒に農家から送ることを約束します。農家やメダカのがっこうと一緒に草のいのち、虫のいのちを守る同志になりましょう。